

議 事 録

会議名	文書館運営審議会		
日 時	平成23年11月8日(水)13:15～15:00	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館 3階会議室		
出席者	委員：木村委員長、大川委員、野村委員、江川委員、徳力委員 欠席：小川副委員長、海老根委員 事務局：高木副主幹 傍聴者：なし		
議 題	(1) 平成23年度事業中間報告について (2) 平成24年度事業計画について (3) その他		
決定事項	(1) 平成23年度寒川文書館中間報告の承認 (2) 平成24年度寒川文書館事業計画の承認		
議 事	<p>(1)平成23年度寒川文書館事業中間報告について</p> <p>平成23年度の9月末現在の事業進捗状況について、事務局より説明した。これに対し、次のような質問があった。</p> <p>○東日本大震災を経て文書館の利用が増え、ミニ展示「関東大震災の記録」にもつながったという説明があり、防災の情報提供の必要性がよくわかった。藤沢市では津波ハザードマップを作成したと聞いたが、寒川町ではそのような計画はあるか。</p> <p>▼神奈川県が昭和2年に発行した『神奈川県震災誌』によれば、相模湾の津波は鎌倉や真鶴で被害をもたらしたが、湾の中央部である高座郡については津波の記述が全くないので、人的な被害はなかったものと考えられる。過去の記録がないとハザードマップも作りにくいのではないか。藤沢市では文書館の講座でも津波の話を取りあげると聞いている。</p> <p>(2)平成24年度寒川文書館事業計画について</p> <p>平成24年度事業計画案について事務局より説明し、次のような意見があった。基本的には審議会として了承とし、細かな修正については事務局一任となった。</p>		

	<p>○防災対策の一環として、マイクロフィルムの遠隔地との相互保存は、適当な相手機関を見つけてぜひ実現してほしい。今回の震災で、庁舎のコンピュータや公文書がかなりの被害をうけた報道を目の当たりにすると、その必要性が実感できた。</p> <p>○個人蔵の資料の把握は、資料の保存・活用という文書館の通常業務で必要なのはもちろんだが、防災上でも大変意義のあることだと認識できた。これもぜひ推進してほしい。</p> <p>○古文書の保存箱を購入する際は、長期にわたって資料を守れるものを導入することとし、価格のみで飛びつくことのないように留意してもらいたい。</p> <p>○人材の確保は、将来にわたって資料を守る意味でも、きわめて重要である。事務局では毎年予算要求しているが、どうしても確保できないという事情は承知しているが、来年度こそ前進させてほしい。</p> <p>○自主財源確保のところ助成金について言及しているが、中心となる研究者を据えなければならないケースが多いので、申請を検討する際は編集委員会と綿密に打合せをしておくこと。</p> <p>(3)その他</p> <p>○議事録の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認委員は江川委員が指名された。 <p>○次回会議について</p> <p>今年度は最終となり、次回は来年7月ごろを予定している。日程調整は書面または電話確認で行う。</p>
資 料	
事録承認委員及び議事録確定年月日	<p style="text-align: center;">江 川 辰 夫</p> <p style="text-align: right;">平成 23 年 12 月 1 日確定</p>